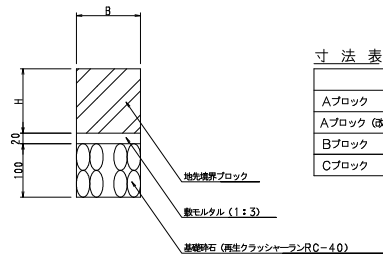


1

地先境界ブロック $S=1:10$
(一般部)

寸法表

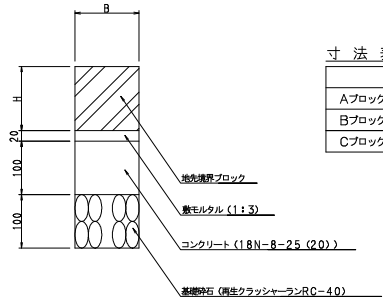
	B	H
Aブロック	120	120
Aブロック (底)	120	300
Bブロック	150	120
Cブロック	150	150

参考：地先境界ブロック（一般部）材料表

(10m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	Aブロック	Aブロック (底)	Bブロック	Cブロック	摘 要
地先境界ブロック	Aブロック、L=600	本	16.4	—	—	—	参考重量 18kg
地先境界ブロック	Aブロック (底)、L=600	本	—	16.4	—	—	参考重量 52kg
地先境界ブロック	Bブロック、L=600	本	—	—	16.4	—	参考重量 24kg
地先境界ブロック	Cブロック、L=600	本	—	—	—	16.4	参考重量 30kg

2

地先境界ブロック $S=1:10$
(乗入れ部)

寸法表

	B	H
Aブロック	120	120
Bブロック	150	120
Cブロック	150	150

参考：地先境界ブロック（乗入れ部）材料表

(10m当り)

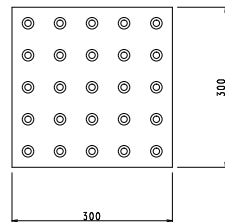
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	摘 要
地先境界ブロック	Aブロック、L=600	本	16.4	—	—	参考重量 18kg
地先境界ブロック	Bブロック、L=600	本	—	16.4	—	参考重量 24kg
地先境界ブロック	Cブロック、L=600	本	—	—	16.4	参考重量 30kg

※コンクリートの数量は、(B×0.100×10.000)
※型枠の数量は、(10.000×0.100×2)

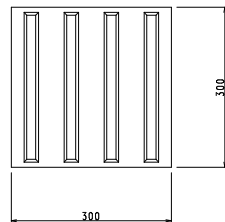
3

視覚障害者誘導用ブロック $S=1:10$

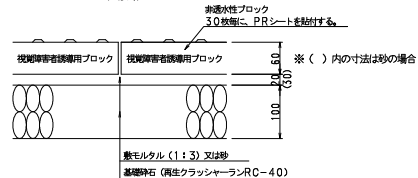
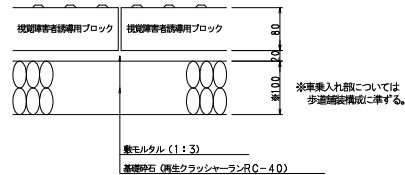
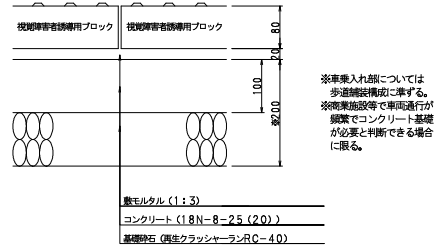
点 状 突 起



線 状 突 起

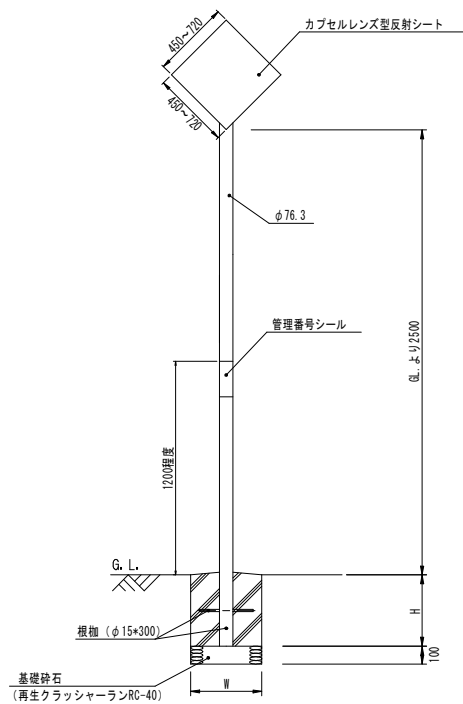


※突起の寸法は、JIS T9251による

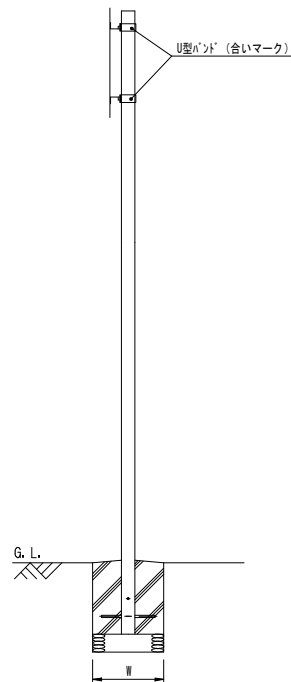
断 面 図
(一般部)断 面 図
(乗入れ部)断 面 図
(乗入れ部 コンクリート基礎)

警戒標識

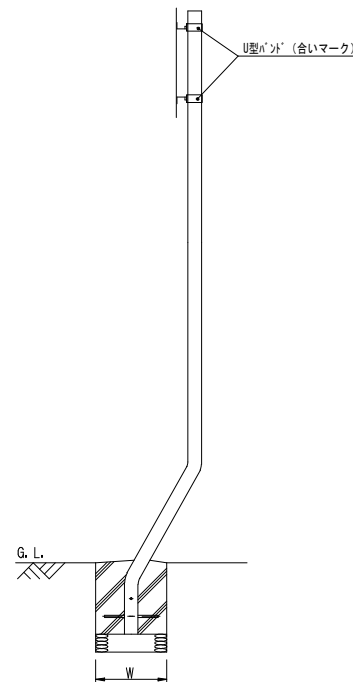
正面図



側面図



側面図（曲柱）※参考



- 仕様・規格
- 1.) 支柱は下地垂鉛メッキ、静電粉体塗装（白色）とする。
 - 2.) 基礎サイズは下記のとおりとする。
 - 3.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
 - 4.) 基礎は水はけのよい仕上げにすること。

規格	設計風速40m/sec	
	基礎幅W	高さH
1.0倍 450*450	500	600
1.3倍 585*585	500	800
1.6倍 720*720	500	900

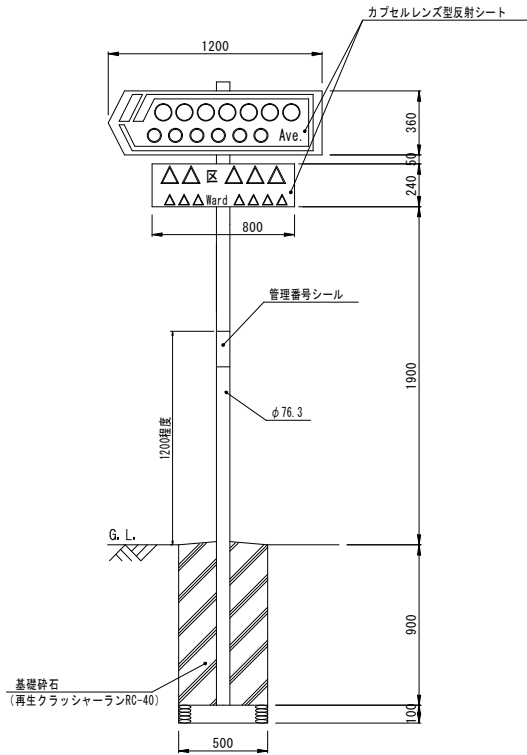
W=500（設計風速40m/sec）(10基あたり)

名称		設置場所	舗装版切断	舗装版破砕	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石	型枠	コンクリート基礎	材料			
											標識柱	基礎	標識板	取付金具
形状・寸法								RC-40 t=10cm		18-B-25 (高炉)			超高輝度 広角反射シート	
数量	1.0倍 450*450	舗装	20.0 m	2.5 m ²	1.5 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	— m ²	1.47 m ³	(10) 本	(10) 基	10 枚	10 組
		未舗装	—	—	1.7	—	—	2.5	12.0	1.47	(10)	(10)	10	10
	1.3倍 585*585	舗装	20.0	2.5	2.0	0.1	0.3	2.5	—	1.96	(10)	(10)	10	10
		未舗装	—	—	2.2	—	—	2.5	16.0	1.96	(10)	(10)	10	10
	1.6倍 720*720	舗装	20.0	2.5	2.2	0.1	0.3	2.5	—	2.21	(10)	(10)	10	10
		未舗装	—	—	2.5	—	—	2.5	18.0	2.21	(10)	(10)	10	10

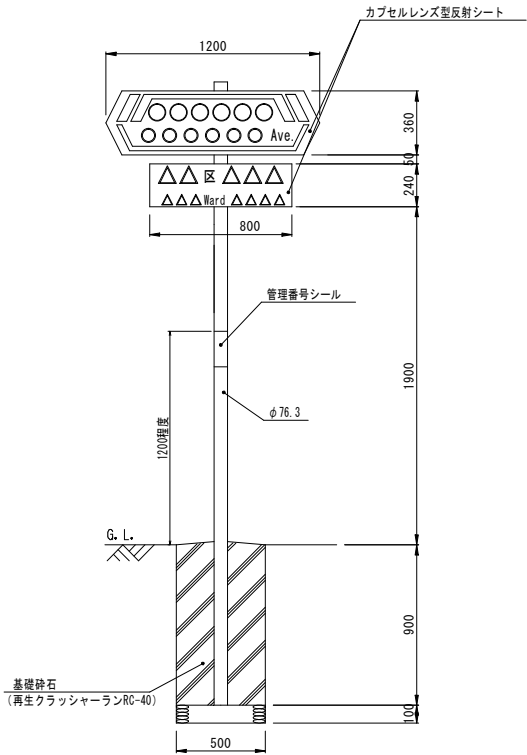
※上記数量（舗装部）については、舗装厚をt=140mm（As40mm、路盤100mm）として算出したものである。
※管理番号シールは、土木事務所配布。

道路愛称名標識

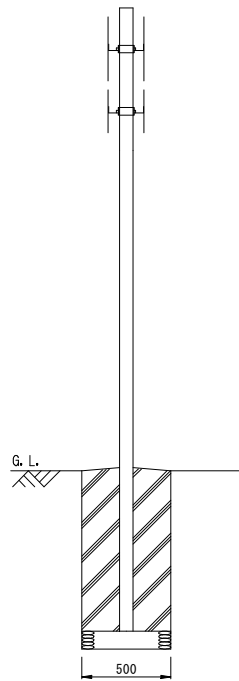
正面図
(起終点)
119-A



正面図
(中間点)
119-B



側面図



仕様・規格

- 1.) 支柱は下地垂鉛メッキ、静電粉体塗装（白色）とする。
- 2.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
- 3.) 基礎は水はけのよい仕上げにすること。
- 4.) 歩道幅員が十分でなく、歩行者通行の妨げとなる場合は、
標示板の設置高さを2.5m以上とし、構造については再計算し決定すること。

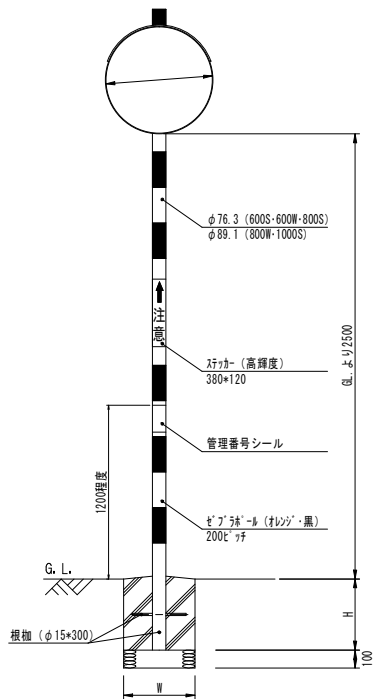
(10基あたり)

名 称	設置場所	舗装板切断	舗装板破砕	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石 RC-40 t=100mm	型 枠	コンクリート基礎 18-8-25 (高歩)	材 料			
										標識柱	基礎	標識板	取付金具
数 量	舗装	20.0 m	2.5 m ²	2.2 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	— m ²	2.21 m ³	(10) 本	(10) 基	10 枚	10 組
	未舗装	—	—	2.5	—	—	2.5	18.0	2.21	(10)	(10)	10	10

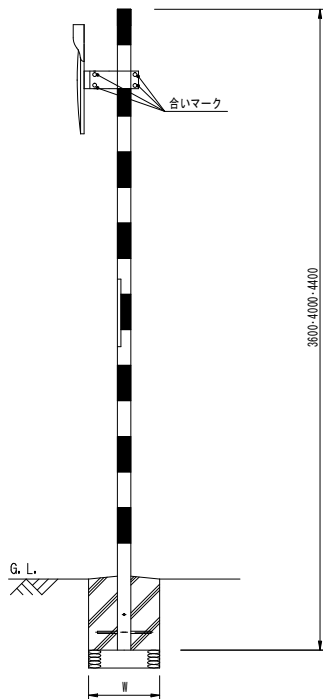
※上記数量（舗装部）については、舗装厚をt=140mm（As40mm、路盤100mm）として算出したものである。
※管理番号シールは、土木事務所で配布。

道路反射鏡

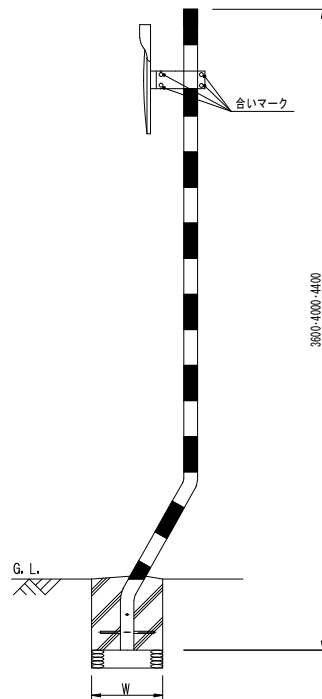
正面図



側面図



側面図 (曲柱) ※参考



仕様・規格

- 1.) 鏡面材質はステンレスとする。
- 2.) 支柱は下地亜鉛メッキ、静電粉体塗装とする。
- 3.) 基礎サイズは下記のとおりとする。
- 4.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
- 5.) 基礎は水はけのよい仕上げとする。

規格	設計風速40m/sec	
	基礎幅W	高さH
600S	500	600
600W 800S	500	900
800W 1000S	500	1200

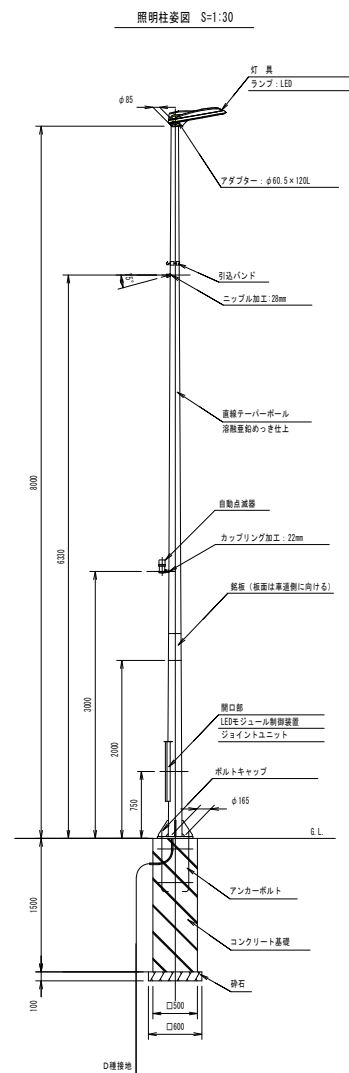
W=500 (設計風速40m/sec)

(10基あたり)

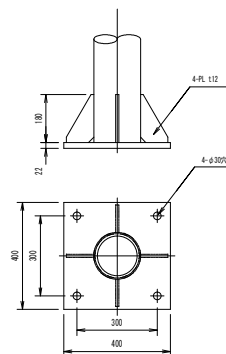
名 称		設置場所	舗装版切断	舗装版破砕	床掘	埋戻し	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石	型 枠	コンクリート基礎	材 料			
形状・寸法										RC-40 t=100mm		18-8-25 (高炉)	支柱	鏡体	補助金具	スチッカー
数 量	600S	舗装	20.0 m	2.5 m ²	1.8 m ³	— m ³	1.5 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	— m ²	1.47 m ³	10 本	10 面	— 組	10 枚
	"	未舗装	—	—	3.2	1.5	1.7	—	—	2.5	12.0	1.47	10	10	—	10
	600W (800S)	舗装	20.0	2.5	2.5	—	2.2	0.1	0.3	2.5	—	2.21	10	20 (10)	10 (—)	10
	"	未舗装	—	—	4.7	2.2	2.5	—	—	2.5	18.0	2.21	10	20 (10)	10 (—)	10
	800W (1000S)	舗装	20.0	2.5	3.3	—	3.0	0.1	0.3	2.5	—	2.92	10	20 (10)	10 (—)	10
	"	未舗装	—	—	6.1	2.9	3.2	—	—	2.5	19.2	2.92	10	20 (10)	10 (—)	10

※上記数量 (舗装部) については、舗装厚をt=140mm (As40mm、路盤100mm) として算出したものである。
※管理番号シールは、土木事務所配布。

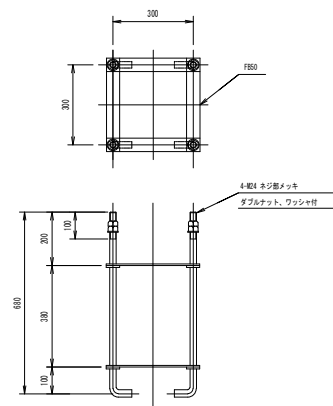
道路照明灯（独立柱H=8.0m）



ベースプレート詳細図 S=1/10



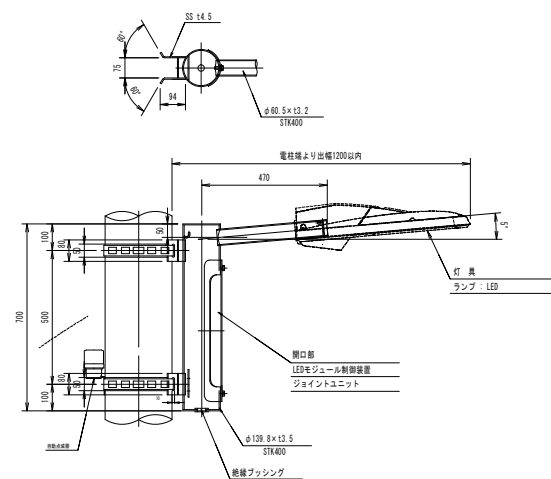
アンカーボルト詳細図 S=1/10



※基礎は水はけのよい地上げにすること。
 ※鉄板は、土木事務所で配布。
 ※ボルト等には食いマークを施す。
 ※現場状況や照度分布等を考慮し、オーバーハング式との比較検討を行い支柱タイプを決定する。

道路照明灯（共架）

共架灯姿図 S=1:10



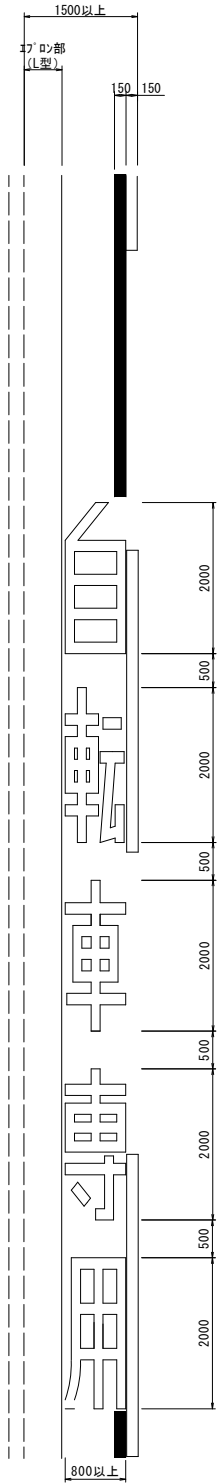
※溶融亜鉛めっき仕上

※銘板は、土木事務所で配布、共架する柱に設置する。
※ボルト等に合いマークを設置する。

自転車走行環境整備関係

路面標示

自転車レーン 縮尺 1:50



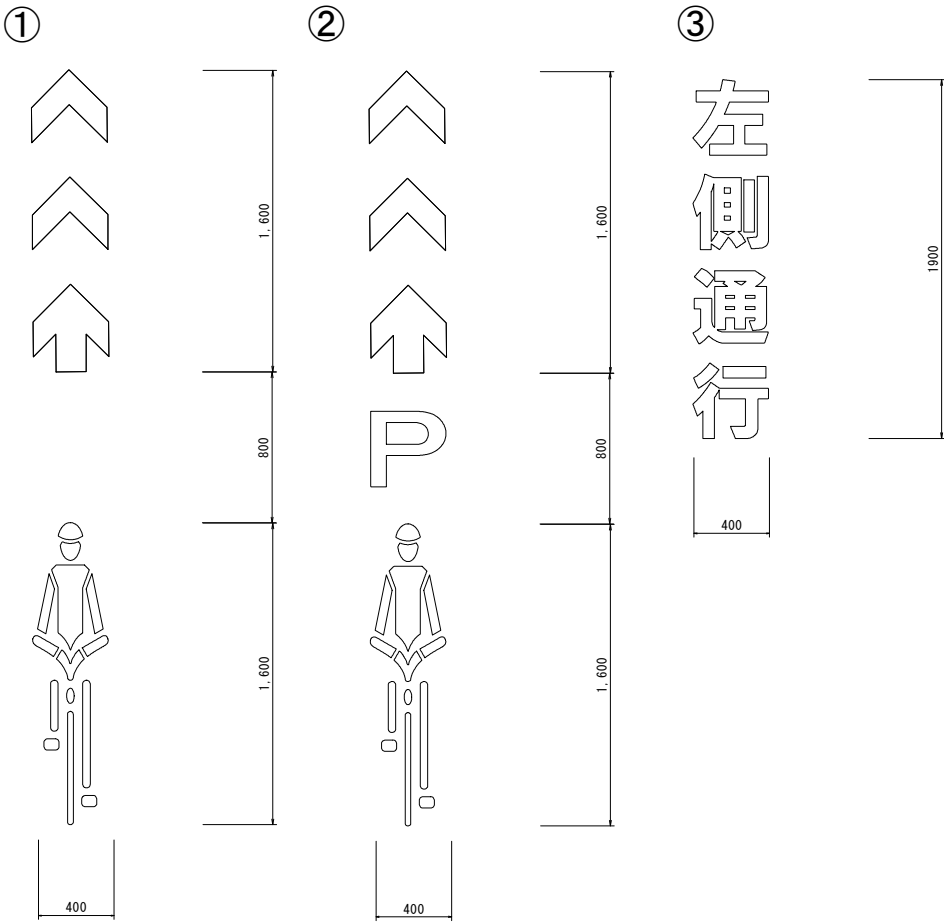
※道路の状況等によりやむを得ない場合は
整備区間の一部で舗装部分の幅員を1.0m以上まで縮小することができる。
※現場状況を確認し「ちばチャリ・すいすいプラン自転車走行環境整備マニュアル」に
沿って適切に設置すること。

材 料 表

(1m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
排水性舗装部 排水性舗装部以外	青色 W=0.15	m ²	0.15	

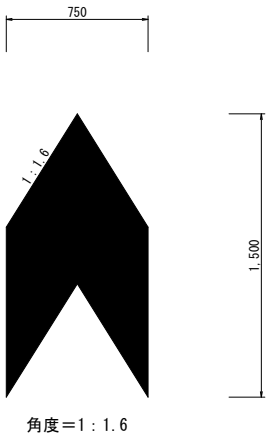
自転車ピクトグラム 縮尺 1:20



- ※①を設置する箇所
①ー1 (幹線ルート)
・自動車と自転車の交錯の機会が多い区間等
①ー2 (自転車駐車場から幹線ルートへ向かう道路の左側)
・道路の曲がり角の手前、交差点の手前
※②を設置する箇所 (幹線ルートから自転車駐車場へ向かう道路の左側)
・道路の曲がり角の手前、交差点の手前
※①③を設置する箇所 (幹線ルート)
・主要な交差点の手前

※現場状況を確認し「ちばチャリ・すいすいプラン自転車走行環境整備マニュアル」に沿って適切に設置すること。

矢 羽 根 縮尺 1:20



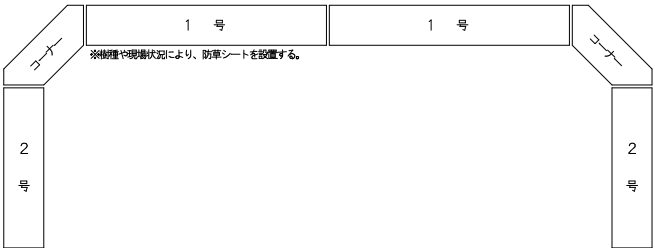
※一般部は20m間隔、交差点内は5m間隔で設置する。
※箇所数で積算する。
※D1D地区外は、費用対効果等を考慮して、一般部を
50m間隔で設置を可能とする。
※現場状況を確認し「ちばチャリすいすいプラン自転車走行環境整備マニュアル」に
沿って適切に設置すること。

参考：材料表

(1箇所当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
排水性舗装部 排水性舗装部以外	青色	m ²	0.675	

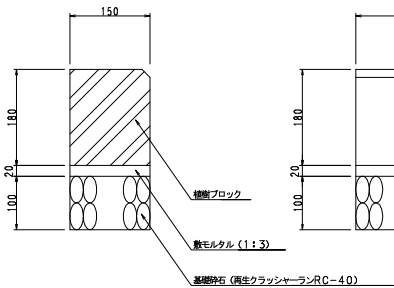
施 工 例



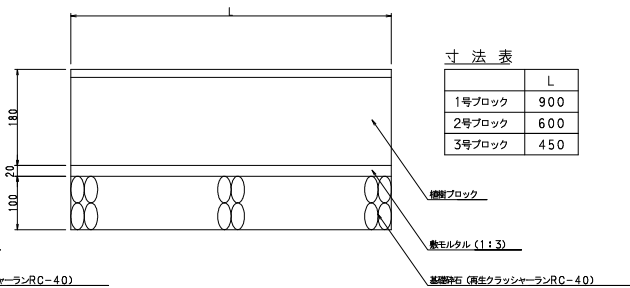
植樹ブロック S=1:1.0

1号～3号ブロック

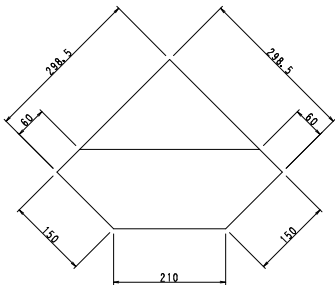
断 面 図



正 面 図



コーナーブロック

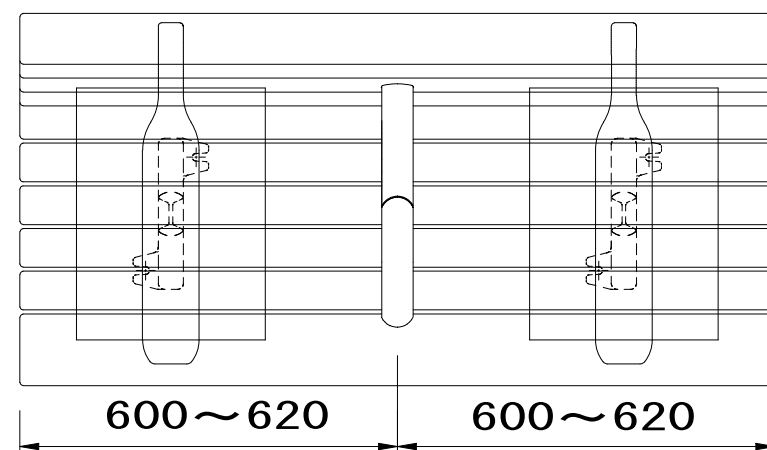


参考：植樹ブロック材料表

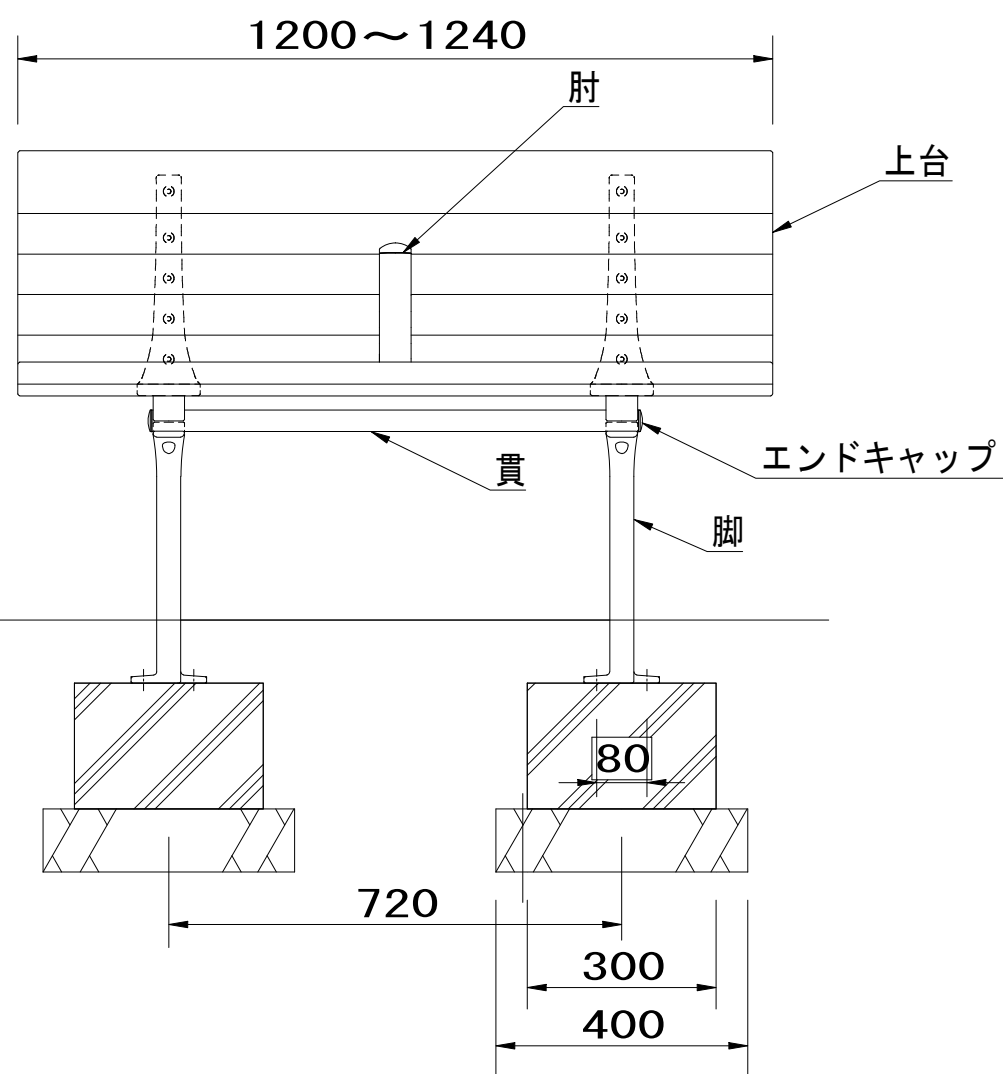
名 称		規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	備 考
植樹ブロック	1号	(150×180×900)	本		参考重量 58kg
植樹ブロック	2号	(150×180×600)	本		参考重量 39kg
植樹ブロック	3号	(150×180×450)	本		参考重量 39kg
植樹ブロック	コーナー		本		参考重量 21kg

※防草シートは、別途計上する。

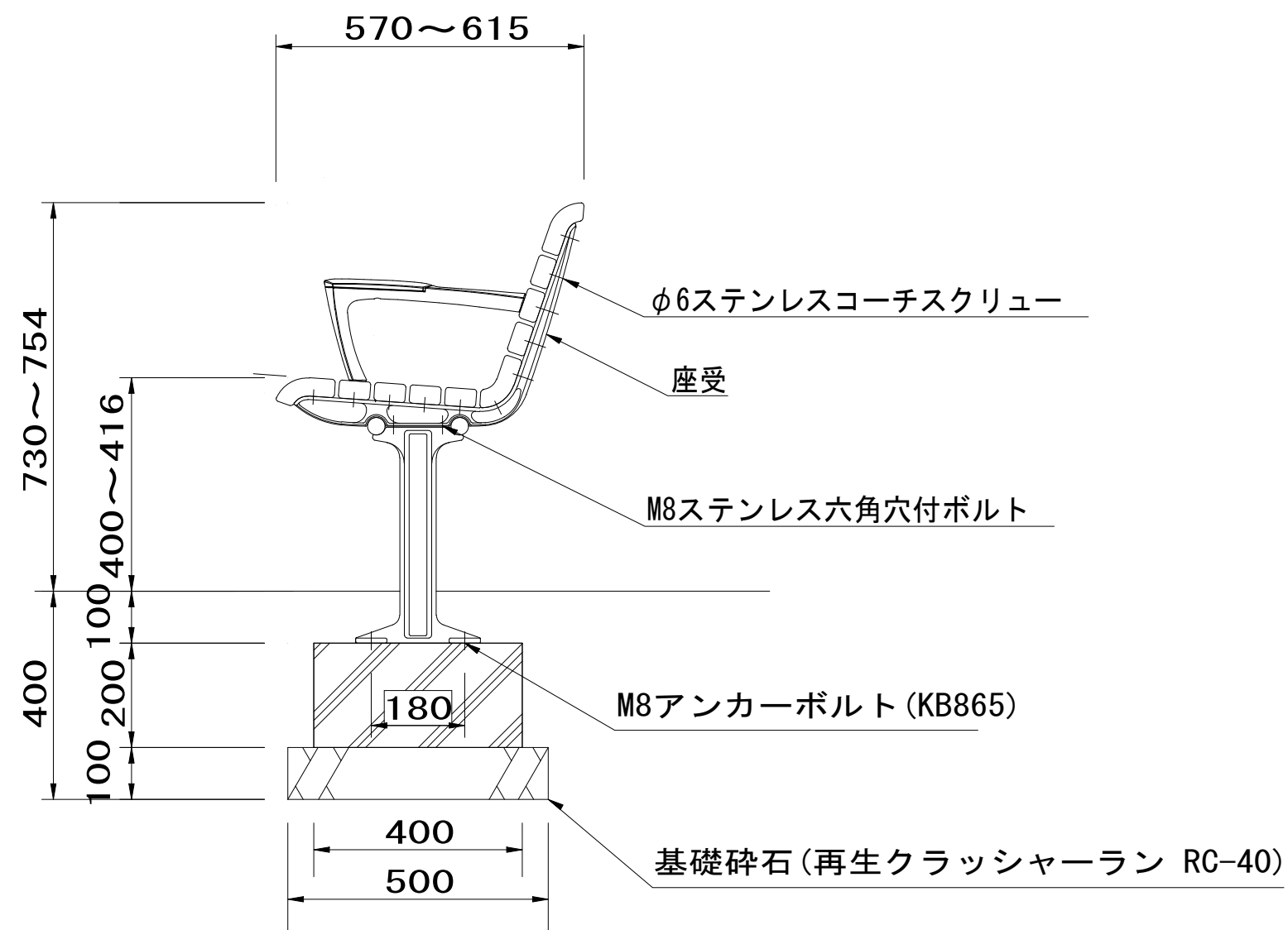
ベンチ（据置式・背もた有り）



平面図 S=1/6



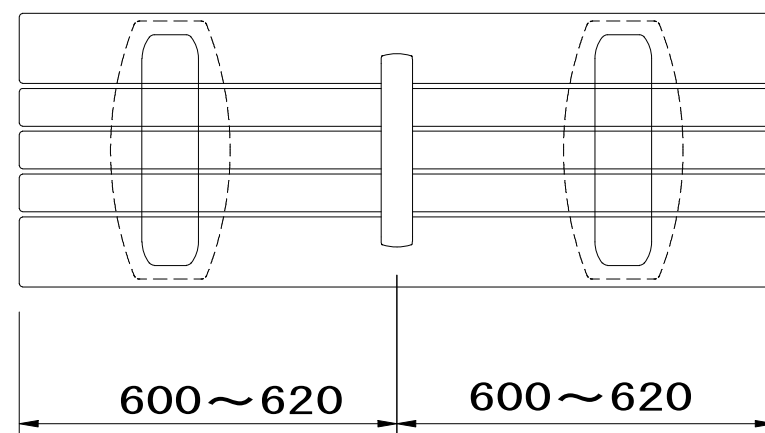
正面図 S=1/6



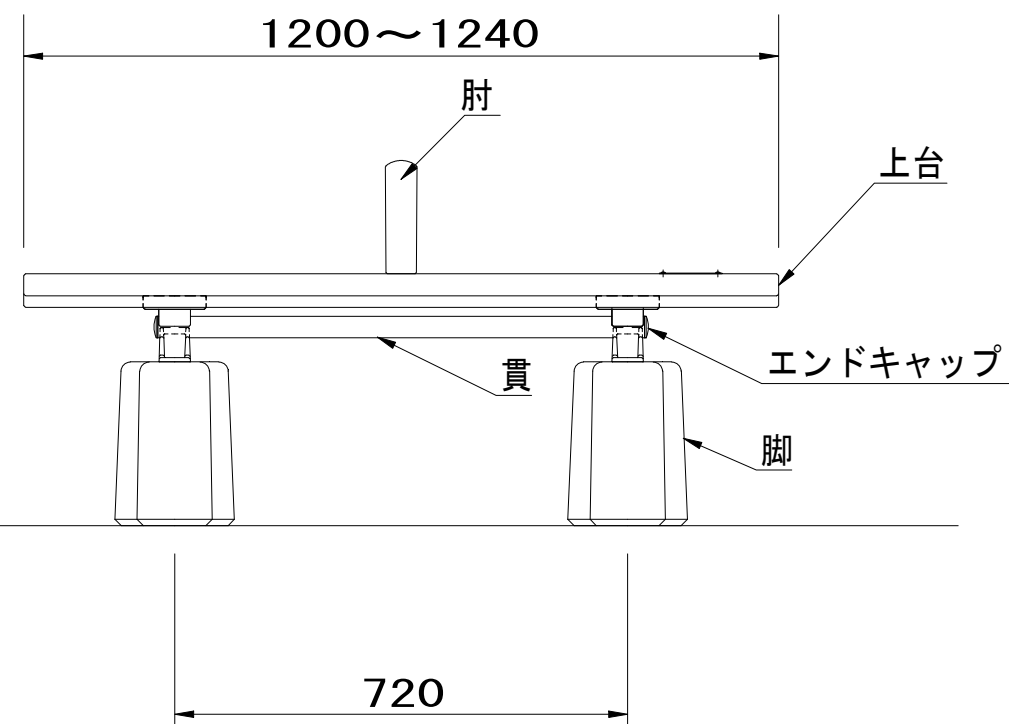
側面図 S=1/6

- ※脚、肘、座受は、アルミ合金鋳物で、合成樹脂塗装とする。
- ※上台は合成木材または再生木材とする。
- ※基礎と脚の固定はアンカーボルトとする。
- ※ボルト、ナット、ネジ類は、すべてステンレス製とする。
- ※コンクリート基礎ブロックを使用する場合は、安全性が確認できる資料を添付すること。
- ※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
- ※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
- ※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

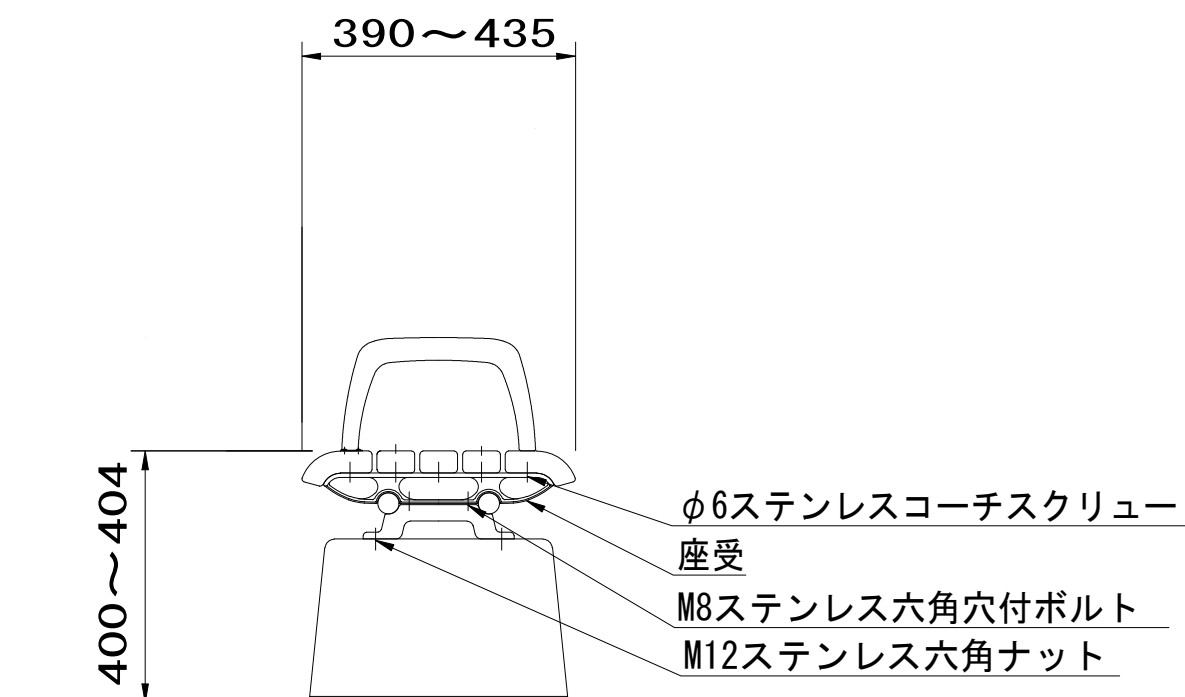
ベンチ（据置式・背もたれ無し）



平面図 S=1/6



正面図 S=1/6



側面図 S=1/6

- ※脚、肘、座受は、アルミ合金鋳物で、合成樹脂塗装とする。
- ※上台は合成木材または再生木材とする。
- ※ボルト、ナット、ネジ類は、すべてステンレス製とする。
- ※コンクリート基礎ブロックを使用する場合は、安全性が確認できる資料を添付すること。
- ※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
- ※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。